

社友会30年史以降の主な出来事	
2018年 平成30年	
2月	浜田博信、逝去、享年 75 2.24
4月	名所散策と飲酒談話会 「大宮氷川神社」「大宮公園桜見物」「盆栽村」をめぐる 4.4
6月	第31回社友会総会・懇親会（本社講堂） 「緑なす音羽の社にVI 講談社社友会 30年の歩み」刊行 出席者に配布 6.30
7月	名所散策と飲酒談話会 東京証券取引所見学&兜町界隈街歩き 7.9
9月	第27回「社友会作品展」豊島区雑司が谷地域文化創造館で開催 9.22~24 来場者数は165名
10月	名所散策と飲酒談話会 板橋区：赤塚・成増界隈史跡巡り 10.17 社友会秋季懇親会（H棟 26階）。第5回「講談社ブクリ大賞」表彰式 10.26
10月	「講談社ブック大賞」受賞作品 松本猛「いわさきちひろ子どもへの愛に生きて」 堀川恵子「戦禍に生きて演劇人たち」 鴻上尚史「不死身の特攻兵」 矢部耕治「知ってはいけない」 山科正平「カラー図解 新しい人体の教科書 上下」 萩原さちこ「城の科学」 大橋日登美（校閲）「新しい人体の教科書」「戦禍に生きて演劇人たち」
2019年 令和元年	
第53回吉川英治文学賞 篠田節子「鏡の背面」	
3月	週刊現代と週刊少年マガジン 元気に還暦を迎える
4月	名所散策と飲酒談話会 六義園&旧古河庭園お花見と歴史散策 4.2
6月	第32回講談社社友会・懇親会（本社講堂） 6.29 名所散策と飲酒談話会 東京地裁裁判傍聴&法務省：法務資料展示室見学ツアー 7.11
7月	芥川賞 上田岳弘「ニムロッド」（群像）と直木賞 真藤順丈「宝島」がダブル受賞
9月	第28回「社友会作品展」。豊島区雑司が谷地域文化創造館で開催。特別展 里中真智子『天上の虹』大和和紀『あさきゆめみし』『歴史漫画の魅力』 来場者数は174名
10月	社友会秋季懇親会（H棟 26階） 第6回「講談社ブクリ大賞」表彰式
10月	ブック大賞受賞作品 佐伯一麦「山海記（せんがいぎ）」 小嵐九八郎「蕪村」 佐々木実「資本主義と闘った男」 藤井誠二「沖縄アンダーグラウンド」 国立がん研究センター研究所編「『がん』はなぜできるのか」 片寄太郎「かみさまのおはなし」 特別賞 「おとなの週刊現代死後の手続きはこんなに大変です」 奨励賞 山田洋次「悪道」 フランシス・フクヤマ「政治の衰退」 宮本正興+松田基二「新書アフリカ史」 辻惟雄「十八世紀京都画壇」
2020年 令和2年	
名所散策と飲酒談話会 石神井公園界隈のお花と歴史散策	
6月	コロナ禍で第33回講談社社友会総会・懇親会は中止
10月	社友会秋季懇親会はコロナ禍で中止
11月	「青い鳥文庫」大空に飛翔し創刊40周年を迎える 「たのしい幼稚園」創刊65周年を迎える
2021年 令和3年	
芥川賞に石沢麻衣「貝に続く場所」が受賞 幹事会はコロナ禍のため年5回のところ2回だけの開催になる。常任幹事会は月1回のところ3回だけの開催になる。	
6月	第34回講談社社友会総会・懇親会はコロナ禍で中止
10月	第29回社友会作品展は社友会報カラー8ページの紙上作品展に
12月	としま区民センターで常任幹事会が開かれる。第7回ブック大賞の表彰式も行われた。 12.10 ブック大賞受賞作品 講談社編「Day to Day 溝口敦「喰うか喰われるか」 井上寿一「論点別 昭和史」馬場悠男「『顔』の進化」 谷川浩司「藤井聡太論」 川内有緒「晴れたら空に骨を巻いて」 篠田桃紅「これでおしまい」 講談社編「学習まんが日本の歴史」 リト@葉っぱ切り絵「いつでもきみのそばにいる」 12.10
2022年 令和4年	
6月	第35回社友会総会が神保町ブッククラブで3年ぶりに開かれる 53人参加 懇親会は中止 大中野すみれさんが退任 「若き日の小村寿太郎」を鑑賞 6.30
7月	常任幹事会で資料部をデジタル管理部に名称変更 HP（ホームページ）を開設。担当に田中民男さんがなる。社友会報は社友会会報にロゴとも変更される。事務局長が小池達也さんから小此木孝夫さんに。大場由江さんと田中民男さんが新幹事に。 名所散策と飲酒談話会 生田緑地散策 7.7 芥川賞に高瀬隼子「美味しいごはんが食べられますように」（群像）が 7.20